

国内外からも注目される
先進的な取り組み

資源循環のまち

山・川・大地・海・空…
みやまの豊かな環境を未来に残すために
人にも地球にも優しい資源循環型社会を目指しています。

ごみをきちんと分別し、資源として活用する。地域でエネルギーや食料を生み出し、地元で消費する。そうした市民一人ひとりの行動によって、資源循環型社会の実現を目指しています。

生ごみのメタン発酵による発電・熱利用・液肥化と農業利用、紙おむつの資源化、廃食用油のバイオディーゼル燃料化、剪定枝の再利用などの事業や、産業振興・雇用創出を図る取り組みが国に評価され、地域の特徴を生かしたバイオマス産業を軸に、環境に優しいまちづくりを行っているとして平成26年に「バイオマス産業都市」に認定されました。



電気の地産地消
太陽光で電気を作って
家庭で利用



生ごみの分別
家庭や事業所で
生ごみを分別します



発酵させて液肥化
バイオマスセンターで生ごみから
液肥と電気を生み出します

地元農産物の供給
液肥で育てた農産物を
学校給食や家庭の食卓へ

つながる
資源循環の
「環」

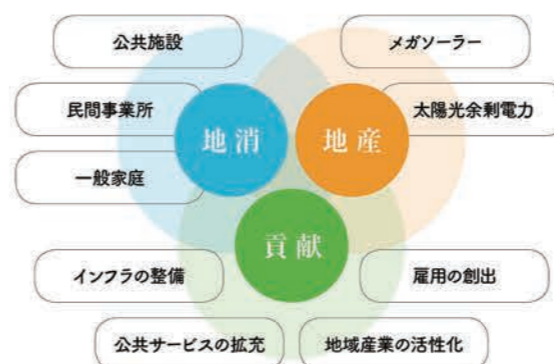


液肥の農地還元
優れた有機質の肥料「みのるん」を
水稻や麦の栽培に利用



日本初！自治体による電力会社でみやまの明日をもっと明るく。

みやまスマートエネルギー(株)



再生可能エネルギーの地産地消で、地域の活性化とサービスの充実を。

豊かな日照量と広大な土地を持つみやま市は、メガソーラー発電所の建設や住宅への設置を促進し、国内でも有数の太陽光発電施設を有しています。これらを最大限に有効活用し、電力を地産地消できる持続可能な社会と、分散型エネルギーインフラによる災害に強いまちづくりを目指して、自治体による低圧電力売買を主目的とした日本初の事業会社を設立しました。

雇用創出や地域経済の活性化を図るほか、高齢者の見守りサービスといった地域密着型の生活支援を付加価値として提供し、収益を積極的に市民サービスへ反映させています。

生ごみだって大切な資源。燃やさずに液体肥料にかえる。 バイオマスセンター「ルフラン」



従来型のごみ処理施設とは異なり、生ごみなどを廃棄物として処理するのではなく、メタン発酵させて電気と有機質の肥料を作り出し、バイオマス資源として循環利用するための施設です。さらに、地球環境の保全に役立ち、安心安全な農産物の地産地消を推進し、人々が憩い集う場としての機能も持っています。

生ごみが分解されて発生するメタンガスを利用して発電を行い、施設内の電力と温水として活用。発酵後の消化液はバイオ液肥「みのるん」として市内の田畑に散布され、栽培された作物が食卓に並び、そんな循環の「環」が回り始めました。

資源循環のまちづくりの拠点施設が
平成30年12月に稼働開始！



学校もリサイクル！廃校となった山川南部小学校のグラウンド跡にバイオマスセンター「ルフラン」が整備され、校舎は改装して食品加工室やカフェスペース、シェアオフィス、研修室などとして活用。起業を志す人のためのチャレンジ施設に生まれ変わりました。また、音楽会や料理教室、マーケットなど、さまざまなイベントも開催されています。

- ①チャレンジカフェ/出店1時間220円～
- ②食品加工室/1時間220円～
- ③シェアオフィス/月額4,950円



みやま市の先駆的な活動が高く評価されて受賞



第7回環境省グッドライフアワード
環境大臣賞 優秀賞



GOOD DESIGN AWARD 2015
グッドデザイン金賞

自治体が主体となって再生可能エネルギーを推進する総合的な取り組みが認められ、2015年度グッドデザイン金賞に選ばれ、2019年には地域資源を生かした資源循環のまちづくりが評価されて、グッドライフアワード環境大臣賞優秀賞を受賞しました。

みやまの恵みを体感できる施設が市役所前に
さくらテラス



みやまスマートエネルギー(株)が、市民サービスの一つとして運営している施設です。地元の新鮮で美味しい食材がたっぷりと味わえるレストランに、個性豊かな特産加工品を販売するショップも併設。子どもからお年寄りまで楽しめるコミュニティスペースではカルチャースクールやさまざまなイベントを行うなど、まちの豊かな文化や芸術に触れることができる、人々の出会いの場、新たな企画や情報の発信基地となっています。

販売するショップも併設。子どもからお年寄りまで楽しめるコミュニティスペースではカルチャースクールやさまざまなイベントを行うなど、まちの豊かな文化や芸術に触れることができる、人々の出会いの場、新たな企画や情報の発信基地となっています。